

伝染性軟属腫（水いぼ）

伝染性軟属腫は伝染性軟属腫ウイルスによって起こる皮膚の良性腫瘍で、俗に「水いぼ」と呼ばれています。5～6才をピークとして3～15才で全体の約90%を占めています。皮膚色あるいは淡紅色の表面に光沢のある発疹で、中央にへそ（臍窩）を持っています。感染は人から人への直接的な接触感染と、器物を介する間接的な接触感染があります。たとえばプールでのビート板での接触で感染します。潜伏期間は14～50日といわれています。

アトピー性皮膚炎の子供や免疫が低下している場合には出来やすく、ひどくなりやすいようです。

治療

放っておいても自然に治癒しますが、6ヶ月から3年間と長い期間かかります。経過を見ながら、ひどくなりそうな場合や、他人への感染を考えて治療を行います。

一番確実で早い方法は、トラコーマ摂子によって摘除することです。

ただし痛みが強いので保護者が躊躇されることも多く、また、行わない医師も多くおられます。さらに、完全に除去するには何回かの摘除が必要です

他には、硝酸銀液あるいはペーストにて痂皮化させる方法や、液体窒素によって凍結させる方法、スピール膏を使用する方法などがあります。

最近、抗カビ成分配合の「コラージュフルフル石鹸」が効果があると噂されています(真偽は不明)。また、ごく最近、**水いぼに効果がある軟膏**が発売されています。保険はきかず自費ですが当院でも扱っていますので、ご希望の方はお申し出ください。



看護

学校伝染病第3腫（その他の伝染病）となっていますが、「**出席停止にしない。プールも原則として制限しない。**」ことになっています。ただし、ビート板等にての間接的な接触感染はありますので、園・学校によっては制限されることもあります。